

令和 5 年度豊川市水道事業会計補正予算（第 4 号）

第20号議案

令和5年度豊川市水道事業会計補正予算（第4号）

（総 則）

第1条 令和5年度水道事業会計の補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入の補正）

第2条 令和5年度水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入の予定額を次のとおり補正する。

款 項	収 入		計
	既決予定額	補正予定額	
	千円	千円	千円
1 水道事業収益	3,801,272	0	3,801,272
1 営業収益	3,051,594	△1,884	3,049,710
2 営業外収益	749,671	1,884	751,555

（他会計からの補助金の補正）

第3条 電力等価格高騰に伴う経済的負担の軽減策として実施する水道料金基本料金の免除に関連し、収入の減少を補うため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、341,975千円である。

~~令和6年2月21日提出~~

豊川市長 竹本幸夫

令和5年度豊川市水道事業会計補正予算（第4号）に関する説明書

令和5年度豊川市水道事業会計補正予算実施計画

収 益 の 収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 水道事業収益			千円 3,801,272	千円 0	千円 3,801,272	
	1 営業収益		3,051,594	△1,884	3,049,710	
		1 給水収益	2,916,534	△1,884	2,914,650	減額
	2 営業外収益		749,671	1,884	751,555	
		4 他会計補助金	342,463	1,884	344,347	追加

令和5年度豊川市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位 千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	295,133
	減価償却費	1,156,873
	固定資産除却費	82,797
	貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,097
	賞与引当金の増減額(△は減少)	158
	法定福利費引当金の増減額(△は減少)	46
	退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,647
	修繕引当金の増減額(△は減少)	0
	長期前受金戻入額	△397,539
	受取利息	△1,001
	支払利息	20,165
	有形固定資産売却損	1
	有形固定資産売却益	△1
	未収金の増減額(△は増加)	184,447
	未払金の増減額(△は減少)	△37,988
	たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,023
	小計	1,305,618
	利息の受取額	1,001
	利息の支払額	△20,165
	業務活動によるキャッシュ・フロー	1,286,454
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△1,257,774
	有形固定資産の売却による収入	66
	国庫補助金等による収入	1
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	19,124
	その他の負担金収入	286,116
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△952,467
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△249,800
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,800
	資金増加額(又は減少額)	84,187
	資金期首残高	2,782,856
	資金期末残高	2,867,043

令和5年度豊川市水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和6年3月31日）

（単位 千円）

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		562,018	
ロ 建 物	843,269		
減価償却累計額	<u>△ 600,745</u>	242,524	
ハ 構 築 物	50,442,227		
減価償却累計額	<u>△ 24,098,487</u>	26,343,740	
ニ 機 械 及 び 装 置	6,068,527		
減価償却累計額	<u>△ 4,190,991</u>	1,877,536	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	33,281		
減価償却累計額	<u>△ 28,270</u>	5,011	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	179,468		
減価償却累計額	<u>△ 137,995</u>	41,473	
ト 量 水 器	233,758		
減価償却累計額	<u>△ 114,188</u>	119,570	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>88,213</u>	
有形固定資産合計			29,280,085

(2) 無形固定資産

イ 電 話 加 入 権		<u>372</u>	
無形固定資産合計			372

(3) 投資その他の資産

イ 投 資 有 価 証 券		<u>200,000</u>	
投資その他の資産合計			<u>200,000</u>

固定資産合計 29,480,457

2 流動資産

(1) 現金預金		2,867,043	
(2) 未収金	421,266		
貸倒引当金	<u>△ 2,189</u>	419,077	
(3) 貯蔵品		19,473	
(4) その他流動資産		<u>1,000</u>	
流動資産合計			<u>3,306,593</u>
資産合計			<u><u>32,787,050</u></u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源 に充てるための企業債	<u>941,034</u>		
企業債合計		941,034	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	214,731		
ロ 修繕引当金	<u>103,744</u>		
引当金合計		<u>318,475</u>	
固定負債合計			1,259,509

4 流動負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源 に充てるための企業債	<u>226,866</u>		
企業債合計		226,866	
(2) 未払金		808,136	
(3) 引当金			

イ 賞 与 引 当 金	21,119	
ロ 法定福利費引当金	<u>4,050</u>	
引 当 金 合 計		25,169
(4) その他流動負債		<u>69,472</u>
流 動 負 債 合 計		1,129,643
5 繰延収益		
(1) 長期前受金	18,269,346	
収益化累計額	<u>△ 9,135,291</u>	
繰 延 収 益 合 計		<u>9,134,055</u>
負 債 合 計		<u><u>11,523,207</u></u>

資 本 の 部

6 資 本 金		17,763,993
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 工 事 負 担 金	1,463,758	
ロ 加 入 金	168,119	
ハ 受 贈 財 産 評 価 額	182,485	
ニ 補 助 金	<u>17,969</u>	
資 本 剰 余 金 合 計		1,832,331
(2) 利 益 剰 余 金		
イ 減 債 積 立 金	173,528	
ロ 利 益 積 立 金	172	
ハ 建 設 改 良 積 立 金	287,441	
ニ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>1,206,378</u>	

利益剰余金合計	<u>1,667,519</u>	
剰余金合計		<u>3,499,850</u>
資 本 合 計		<u>21,263,843</u>
負債資本合計		<u>32,787,050</u>

注記

I. 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品 先入先出法による原価法

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法（ただし、取替資産については取替法による。）

- ・主な耐用年数

建物	15～38年
----	--------

構築物	40年
-----	-----

機械及び装置	8～15年
--------	-------

車両及び運搬具	4～5年
---------	------

工具器具及び備品	5～15年
----------	-------

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、計上額は「退職手当に係る負担金の取扱いに関する確認書」に基づき、水道事業会計が負担すべき退職手当の総額としている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に係る法定福利費の支払いに備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 引当金の取り崩し

(1) 賞与引当金の取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当支給のため、賞与引当金 20,961 千円を取り崩すこととする。

(2) 法定福利費引当金の取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当支給に係る法定福利費の支払いのため、法定福利費引当金 4,004 千円を取り崩すこととする。

(3) 貸倒引当金の取り崩し

当事業年度において、不納欠損による損失を計上する予定であるため、貸倒引当金 6,286 千円を取り崩すこととする。

2 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当水道事業会計は、水道事業セグメントの単一セグメントであるため、記載を省略している。

令和5年度豊川市水道事業会計補正予算説明書

収益の収入

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説明	
1 水道事業 収 益				千円 3,801,272	千円 0	千円 3,801,272		
	1 営業収益			3,051,594	△1,884	3,049,710		
		1 給水収益			2,916,534	△1,884	2,914,650	
			1 水道料金		2,916,534	△1,884	2,914,650	減額
	2 営業外収益				749,671	1,884	751,555	
		4 他会計 補助金			342,463	1,884	344,347	
			1 他会計 補助金		342,463	1,884	344,347	追加
合 計				3,801,272	0	3,801,272		